

感染症情報 2月17日～23日

府下小児科194医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	2,098例	(堺市 197例)
②RSウイルス感染症	356例	(堺市 32例)
③溶連菌感染症	233例	(堺市 32例)
④咽頭結膜熱	48例	(堺市 7例)
⑤水痘	40例	(堺市 6例)

府下302医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 515例(堺市 53例)

報告数による順位。前週比30.9%増の2,878件。感染性胃腸炎が府下で前週から39%増、堺市で前週127例→今回197例。RSウイルス感染症が府下で7%増、堺市で前回38例→今回32例。溶連菌感染症が府下で20%増、堺市で前週31例→今回32例。咽頭結膜熱が府下で7%増、堺市で前週・今回とも7例であった。水痘が大阪府で前週から29%増、堺市で4例→6例であった。

定点当たりでは流行性角結膜炎が第4位に入っていた。

基幹定点だけが報告するマイコプラズマ肺炎は、大阪府で前週4例→今回5例。堺市は3週続けて0例であった。

インフルエンザが府下で前週554例→今回515例で7%減。堺市は前週43例→今回53例で23%増。定点当たり大阪府は1.71、堺市は1.83であった。

府下302医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 938例(堺市 97例)
大阪府定点 3.11 堺市定点 3.34

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
46	83	68	110	76	71	83	116	65	114	106	938

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回933例→今回938例で1%増、定点当たり3.09→3.11であった。堺市で前週112例→今回97例で13%減、定点当たり3.86→3.34であった。大阪府のブロック別でワースト4位となった。

麻疹の報告が3例あった(1例は重複?)。風疹はなかった。